

二戸地区市町村林業担当職員研修会(第1回)の開催について

1 はじめに

市町村の林業担当職員の多くは、林業担当課に異動して初めて林業行政に携わる方が多い一方、林業・木材産業では、専門的な知識を必要とする業務が少なくありません。

このような中、市町村が業務を担う森林経営管理制度は、主な業務が森林所有者への意向調査から、森林整備へと次の段階に移行しつつあり、市町村職員から、林業に関するより身近で実践的な研修を開催してほしいとの要望がありました。

そこで、二戸林務室では7月14日に第1回目の研修会を開催しましたので、その様子について報告します。

2 研修内容

研修会には、管内市町村から6名(うち2名は林務担当1年目)の参加があり、講師を林業普及指導員が務めました。研修は、森林をつくる仕事、立木調査の基礎、松くい虫被害の基礎知識、ナラ枯れ被害の基礎知識等の内容で行いました。

(1) 森林をつくる仕事

地拵えから間伐までの一連の造林・保育作業のほか、主要樹種の特徴を実物の小枝を手にしながら、わかりやすく説明しました。



主要樹種の説明(スギ、アカマツ、カラマツは覚えて)

(2) 立木調査の基礎

毎木、標準地調査法の概要や、輪尺、バーテックスを使って木の測り方の説明を行いました。なお、現地実習、調査データの活用法については、次回以降としました。



輪尺の使い方(2cm括約ですよ)

(3) 森林病害虫被害の基礎知識

管内で拡大している「松くい虫」被害、及び被害が迫りつつある「ナラ枯れ」被害の基礎知識について、実物の虫の標本等も使って説明を行いました。併せて、管内で被害が確認され、ナラ枯れと間違われやすかったり、住民からの情報提供が予想されるハンノキを食害する「ハンノキハムシ」、ケヤキを食害する「ヤノナミガタチビタマムシ」について、情報提供を行いました。

3 終わりに

参加者に今回の研修を受講しての感想を伺ったところ、「身近な内容や説明のレベルが適切でわかりやすかったと」のことでした。また、次回の研修の要望として、「現地調査後の作業(主伐?間伐?除伐?しばらくこのまま?)の判断が難しいので教えてほしい」との意見があったことから、次回の内容にしたいと考えています。